

(中学校)

第2学年〇組 道徳学習指導案

平成〇年〇月〇日 (〇) 第〇校時

在籍生徒数 〇 名

指導者 教諭 〇 〇 〇 〇

1 主題名 誠実な生き方 1 - (3)

2 資料名 「ネパールのビール」 出典 (「自分を考える」あかつき)

3 主題設定の理由

(1) ねらいとする道徳的価値について

内容項目 1 - (3) は、「自律の精神を重んじ、自主的に考え、誠実に実行してその結果に責任をもつ」ことをねらいとしている。中学校では、小学校高学年の「誠実に、明るく楽しく生活する」という目標を基盤として、「ものごとを誠実にやり遂げることで、自律的な生き方が生まれ、自らの責任によって生きる自信となり、人間としての誇りがもてるようになる」ことを理解させたい。自分の行為の純粋さとどまらず、その行為が及ぼす結果についても深く考えることが必要である。自由を放縦と誤解することなく、自分や社会に対して常に誠実でなければならないことを自覚し、責任をもった行動がとれるようにさせることが大切である。そして、高等学校の「自主・自律の精神をもって、自他の尊厳を重んじ誠実に生きる」ことに繋げていきたい。

(2) 生徒の実態について

この時期の生徒は、係活動や清掃活動などにおいて、自分が為すべき役割を誠実に実行する生徒がいる反面、友だちに押しつけてしまったり、ごまかしてみたり、自分がやりたくないことに対して逃げってしまう生徒も少なくない。また、年上の人の言うことを素直に聞き入れることができず、行動に移せないこともある。自分の行為が自分や他人にどのような結果をもたらすかを考え、「誠実に生きることが、人間として大切なことだと思う心」を耕していきたい。

(3) 資料の活用について

本資料は、ネパールの山岳地帯の村に撮影のために滞在していた主人公「私」が、一人の少年「チェトリ」の誠実な行動に心をうたれる話である。車がつかえないこの村での撮影は、機材や食料を人が背負って運ぶため、余分なものはいっさい割愛された。スタッフ全員で協議のした末、諦めたのに主人公が「ここでビールを飲んだら、うまいだろうな」と口にしたことから話が始まる。この言葉を聴きつけた少年がビールを買ってきてくれた。次の日も買って来てくれるという少年の言葉が嬉しくて、主人公は前日より大金を預けた。しかし、少年は2日たっても帰ってこない。事故にでも合ったのではないかと心配する主人公に対し、村人や教師までもが「あれだけのお金を手にしたら帰ってこない」と言う。後悔の念にかられていた深夜、泥まみれになった少年が帰ってきた。主人公のために3日間かけて少年はビールを買ってきてくれたのだ。少年の誠実さに心をうたれた主人公が、自分や社会に対して常に誠実でありたいと思う話である。

指導の視点として、次の3つの場面を中心に取り上げ、本時のねらいに迫るようにする。

①ビールを買って来たチェトリを拍手で迎えた場面

②チェトリ君が2回目にビールを買いに行き帰ってこない場面

③ 3日目の深夜、チェトリが立っていた場面

①では、4本買ってきてくれと頼まれたにもかかわらず、5本のビールを買ってきたチェトリの誠実さから、わたしの信頼感が生まれていることに注目させる。②では、チェトリを信じたい気持ちと疑う気持ちをめぐいきれないでいるわたしの気持ちを理解させる。③ではチェトリの姿から自分で考え、決めたことは誠実に実行し、その結果に責任をもつことの大切さを十分に考えさせ、それが、人間としての誇りになることに気付かせていきたい。

4 ねらい

自分で考え、決めたことは誠実に実行し、その結果に責任をもとうとする心情を養う。

5 事前指導

- ・ネパール王国（文化・生活・日本との違い）について、インターネットを利用して調べ学習を行う。

6 本時の展開

| 段階 | 学習活動 ◎主な発問 | 予想される生徒の反応 | 指導上の留意点 ☆評価の観点 |
|----|--|---|--|
| 導入 | 1 ネパールについて知る。 ・ネパール産のビールを見る。 ◎これはどこのビールだと思いますか。 ・ネパールの山岳地帯と子どもたちの写真を提示する。 ◎写真を見て感じたことを発表してください。 | ・ビールを見て、外国のビールであることに興味をもつ。 ・厳しい環境の中での生活は大変そうだ。 ・みんな、裸足なんて、生活が貧しそうだ。 | ・「ビール」と「ネパールの山岳地帯の子どもたちの写真」で導入し、授業への関心を高めるとともに、条件・状況をつかませる。 ・苦しい生活をしているにもかかわらず、子どもたちの笑顔が印象的であることに気付かせたい。 ☆ネパールの子どもの厳しい生活条件を知ることができたか。 （表情、態度、発言、つぶやき） |
| | 2 資料の登場人物、条件・状況について知る。 | | ・条件・状況を説明し、主人公の立場で考えられるようにする。 |
| | ・主人公の「私」は、撮影のためにネパールのドラカ村に滞在する。 ・電気・水道・ガスの設備、車輪の通れる道路もなく、人々は裸足で生活している。 ・村人は荷物を背負って、子どもまでが一本の道を歩くしかない。 ・ポーターを雇って機材や食料を運ぶため、ビールを持ってくるのは諦めた。 ・村の少年チェトリは15歳だが、働きながら学校に行く生活をしている。 | | |
| | 3 資料の範読を聞き、話題の整理と確認をする。 | ・範読を聞く。 ・心に残ったこと、話したいことを発表する。 | ・主人公である私のチェトリ君に対する思いを考えさせながら範読を聞かせる。 ☆チェトリに対する私の思いを感じとることができたか。 （発言、つぶやき） |

4 話題をもとに話し合う。

①ビールを買って来たチェトリを拍手で迎えたときのわたしの気持ちを考える。

◎4本買ってきてくれと頼まれたにもかかわらず、5本のビールを背負ってきたチェトリをわたしはどう思っただろうか。

②チェトリ君が2回目にビールを買いに行き帰ってこないときのわたしの気持ちを考える。

◎歯ぎしりするほど後悔したのはなぜだろう。

③3日目の深夜、チェトリ君が立っていた姿を見たわたしの気持ちを考える。

◎近頃あんなに泣いたことはないというのはなぜだろう。

・大変な思いをして買ってきてくれてありがたい。

・お金が残ったのなら、自分の小遣いにすればよかったのに。

・なんてやさしい子なんだろう。

・1本多く買ってきてくれるなんてうれしい。

・あんなにお金を持たせるのではなかった。昨日、買ってきてくれたからといって、気軽に頼んでしまって申し訳ない。

・4本頼んだのに5本買ってきてくれた子がお金を持って逃げ出すようなことはないだろう

・ケガでもして歩けなくなったら、あの子の一生をダメにしてしまうのではないか。

・お金を持って逃げられたにしても、けがをしたとしても、あの子にとっては大変なことだから。

・自分の言動に責任を持たなければいけないことを教えられたから。

・一生懸命買ってこよとしたチェトリに、頼まれたことは最後まで責任をもってやり遂げなくてはいけないことを学んだから。

・大人である自分が、チェトリ君に大事なことを教えてもらった気がしたから。

・ドラカ村の地理的条件などについて押さえる。

・安易な気持ちで頼んだにもかかわらず、1本多く買ってきてくれた誠実さから、チェトリに対する信頼感が生まれていることに注目させる。

☆チェトリに対する信頼感を感じることができたか。(発言・態度)

・貨幣価値の違いについて簡単に触れる。

・大金を持って逃げたのだろうと言う言葉に、チェトリ君を信じたい気持ちと疑う気持ちをぬぐいきれないでいる私の気持ちがあることに気付かせる。

☆チェトリを信じたい気持ちと疑う気持ちの両方があることに気付くことができたか。

(発言・態度)

・チェトリのもつ責任感の強さにもふれていく。

・チェトリの私にゆだねようとするひたむきな心、誠実さを十分感じとらせて、ねらいに迫る。

・逃げようとするならばいくらでも逃げられる状況にあったのに、最善の努力をしているチェトリの姿に私が感動していることをつかませる。

| | | | |
|---|---|--|---|
| | ○わたしからチェトリ君へ手紙を書こう。 | <ul style="list-style-type: none"> ・チェトリの誠実な態度に、人間としての大切なことを教えてもらった。 ・気軽に頼んだことなのにここまで誠意を尽くしてくれたチェトリにこれからの生き方を教えてもらったような気がした。 | <p>☆チェトリの姿から自分で考え、決めたことは誠実に実行し、その結果に責任をもつことの大切さを感じることができたか。</p> <p>(表現・発言、態度)</p> |
| 終 | 5 在り方生き方についての説話を通して、まとめる。 | | <p>☆人間として誇りのもてる生き方とは何か考えることができたか。</p> <p>(表現・態度)</p> |
| 末 | <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p>「一に誠実、二に誠実、三に誠実 誠実を忘れると処世も人生も誤る」雪舟の生き方について読み、今日の授業で感じたことをまとめる。</p> </div> | | |

7 本時の評価の観点

○生徒サイドの観点

- ・主人公のチェトリ君への期待や後悔、不安、そして学んだことなどを考えることができたか。
- ・チェトリの姿から、自分で考え決めたことは誠実に実行し、その結果に責任をもつことの大切さを感じることができたか。
- ・人間として誇りのもてる生き方とは何か考えることができたか。

○教師サイドの評価

- ・資料の内容、展開時の授業構成は、生徒の実態に適切であったか。
- ・生徒のつぶやきをよく聴き、話合いに生かすことができたか。
- ・話合いを通して、一人一人が道徳的価値の自覚を深めることができたか。
- ・本時のねらいとする「誠実な生き方」に迫る発問は適切であったか。

8 事後指導

- ・学級通信や道徳だよりなどで感想や誇りをもった生き方についてのメッセージなどを紹介する。

9 板書計画

| | | | | | | | | |
|----------|--|--|--|--|--|---|--|----------|
| 誠実 | 泣き顔 | 三日目の深夜 | 帰ってこない 逃げた？ | 子どもたち | チェトリ君の顔 | 村の写真 | 地図 | ネパールの写真 |
| 人間としての誇り | <ul style="list-style-type: none"> ○疑った自分が情けない。 ○誠意を尽くしてくれたチェトリに申し訳ない。 | <ul style="list-style-type: none"> ○チェトリ君に大事なことを教えてもらったから | <ul style="list-style-type: none"> ○あんなにお金を持たせるのではなかった ○なぜ、気軽に頼んでしまったのか ○けがでもしたらどうしよう | <ul style="list-style-type: none"> ○一本多く買ってきてくれてうれしい ○大変な思いをして買ってきてくれてありがたい。 | <ul style="list-style-type: none"> ○五本のビールを背負ってくる。 ○なんてやさしい子なんだろう。 | <ul style="list-style-type: none"> ドラカ村 貧しい生活 村の写真 | <ul style="list-style-type: none"> 山岳地帯 電気、ガス、水道がない。 移動手段は足（はだし） ヒマラヤ山脈の写真 | ネパールのビール |

今日の授業の感想を書こう

_____ 番氏名 _____

授業記録

授業記録

| | | | |
|-----|------------------------------|---------|----------|
| 主題名 | 誠実な生き方 1 - (3) | | |
| 資料名 | 「ネパールのビール」 (出典:「自分を考える」あかつき) | | |
| 授業者 | 杉戸町立広島中学校 | 第2学年4組 | 教諭 田中 智子 |
| 指導者 | 春日部市立春日部中学校長 | 山西 実 先生 | |

[事前の学習]

ネパール王国の文化・生活・日本との違いについて調べ学習を行い、資料を理解するための情報を交換し合う。

授業当日の朝読書の時間に資料を読み味わい、話し合いたい事など話し合いの柱を考えておく。



[本時の展開]

資料への導入を図る

- T
- ・今朝、読書の時間に資料を渡しました。皆さん、資料を読んだことと思います。
 - ・今日は、ネパールの話をしたいと思います。
 - ・(写真を示しながら) 前に調べてみましたが、ネパールって、どんなところでしたか。
- C
- ・(数人が) 生活するのが大変な所。
 - ・電気や水道もない所。
 - ・険しい山ばかりで、車は通れないので、移動は全部歩くしかない所。
 - ・生活が楽でないので、学校にも行けずに、家の手伝いをしている子どもたちも多い。
- T
- ・この写真からも、いろいろなことがわかりますね。
 - ・今日の話に出てくるドラカという村は、ネパールの中でも山岳地帯にあります。(写真を示しながら確認をする)
 - ・幼い子どもまでが、トウモロコシの葉を重そうに運んでいますね。こうして、家族の生活を支えているのですね。
- C
- ・(数人が) 裸足だ。

資料の条件や状況を確認する

- T
- ・そうです。山を裸足で歩いて移動するのです。今日の話に出てくるチェトリ君も、親元を離れて、働きながら学校に通っています。もちろん、毎日、裸足の生活です。
- T
- ・(ビール瓶を見せながら) これを見てください。
- C
- ・(数人が) ビール？
- T
- ・そう、ビールです。ネパールでは「イスタル」と呼ばれています。
 - ・山の絵が、ラベルに描いてあるでしょう。

- C ・ヒマラヤ？
- T ・その通り。それくらい高価だということです。ビール1ダース分のお金があったら、首都のカトマンズ（地図で示しながら）までバスで行って帰って来られるくらいだそうです。
- ・資料は一度読んでいると思いますが、私がもう一度読んでみます。
 - ・この話を書いた人は、（短冊を出しながら）「私」です。
 - ・（短冊を出しながら）「私」は、ドラカ村に「撮影の仕事で滞在」しています。
 - ・「私」のチェトリ君に対する思いを感じ取りながら、聞いてください。

教師が範読する

T: 範読

C: 資料に線を引きながら、範読を聞く。

感想をもとに話合いの柱立てをする

- T ・みんなで話し合ってみたいところを、発表してください。
- C 1 ・3日目の深夜、彼声を聞いたとき、「私」は何を考えたのか。
- T ・同じだという人はいますか。
- C ・（挙手）
- T ・ずいぶんたくさんいますね。ここは大切なところですね。
- C 2 ・チェトリ君が、ベソをかきながら、その破片を全部出して、つり銭を出して見せたところです。
- T ・なるほど。（ベソをかいているチェトリの絵を貼る。）
- C 3 ・あんないい子の一生を狂わしたと思ったのはなぜか。
- T ・（C3のつぶやきを受け止め、短冊を貼る。）
- C 4 ・似たようなところですが、「私」は歯ぎしりをするほど後悔したとは、どういうことか。
- T ・（うなづく）
- ・（つぶやきを聞いて）C5さんどうですか。
- C 5 ・3本しかチャリコットにビールがなかったので、山を4つも越した所へ行っただけです。
- T ・ねー、すごいよね。
- C 6 ・4本買ってきてくれと言われたのに、5本のビールを買ってきた。
- T ・うーん。そうでした。みんなの意見を、ちょっと整理してみますよ。
- ・（話合いの柱を整理して、板書する。）
 - ・「私」は、持ってくるができなかったビールを飲みたかったんだよね。（短冊を貼る。）
 - ・ここも話し合ってみましょう。



〈①の場面〉 **ビールを買ってきたチェトリ君を拍手で迎えたときの私の気持ちを考える**

- T ・「私」は、一番飲みたいはずのビールを置いて来ました。村の少年チェトリ君に4本買って来てと言ったら、C6さんが気付いたとおり、5本買って来ましたね。「私」は、このチェトリ君のことをどのように思ったのでしょうか？
- C 1 ・なんで5本なんだと思った。
- C 2 ・素直ないい子だなあ。気が利くな。
- C 3 ・4本と頼んだのに、5本買って来てくれるなんて、なんていい子なんだ。
- T ・「私」は、チェトリ君に、どんな思いを抱いたでしょう。
- C 1 ・もし、お金が余ったら、自分の小遣いにする事だってできたのに・・・。
- C 2 ・自分だったら、5本買えるから買ってくるなんて、考えないかもしれない。
- T ・そんなチェトリ君なので、ついついあてにして、「私」は、また、頼んだね。でも、二回目は・・・。そう、帰ってこなかったんだ。

〈②の場面〉 **チェトリ君が2回目にビールを買いに行き帰ってこない時の私の気持ちを考える**

- T ・二回目はなかなか帰ってこないで、村の人に相談してみたら、「逃げたんよ。」と、みんなに言われ、C4さんが言ってくれたところですが、歯ぎしりするほど後悔した。と、ありますが、どんな思いが心の中にわいてきたのでしょうか。
- C ・(つぶやき) ちょっと難しいなあ。
- T ・そうだね。では、近くの人と少し話し合ってみましょう。
(机間指導をしながら、個別に語りかけ聞き取る。)



T: 机間指導

(つぶやきを聞きながら聞き返し、思考を深める)

C1:もし、事故にでもあっていたら大変だ。

C1”: 遠いから無理だと頼むのを止めればよかった。自分のことばかりで、買いに行く人の身になってなかった。

C2:お金があったら、逃げちゃうよ。

C2”:大金を子どもに渡したのはまずかった。お金を渡さなければ、あの子はいい子のままでいられたのに。

C3:逃げないよ。あの子は5本も買ってきてくれたんだよ。

C3”:いままで見たこともないお金を手にしたら、人間の心は揺らぐのかな。でも、信じたい気持ちが大きいと思うよ。

- T ・「私」は、チェトリ君に首都まで行けるほどの大金を渡してしまいました。
- C1 ・だまされたんだよ。帰ってこないよ。
- C2 ・自分の欲のせいで、あんないい子の一生をこんなにしてしまったという責任感と後悔が、歯ぎしりするほどの後悔になったのだと思う。
- T ・(板書) 自分の欲、責任感、後悔。
・自分の欲とC2さんは言っていますが、どうですか。
- C3 ・あの子が逃げるはずがないけれど、事故にあっているのではないか。
- C4 ・もっと冷静に考えればよかった。
- C5 ・お金を渡すときに、もっと考えればよかった。
- T ・お金を渡すときにね。冷静にね。
・あんないい子。(強調して板書する。)
- C6 ・ちゃんと帰って来てほしい。

〈③の場面〉 **3日目の深夜、チェトリ君が立っていた姿を見た時の私の気持ちを考える**

- T ・そんな中で、3日目の深夜。(短冊を貼る)
・ドアをロックする音が聞こえて、(泥まみれで、ヨレヨレの格好のチェトリ君の場面絵を見せながら)チェトリ君がやっと帰ってきました。
・「私」は、その姿を見て涙が流れました。その訳を考えましょう。
- C1 ・「人を信じることは大切だ」と、心の底から思った。
- C2 ・チェトリ君が、逃げてしまったと考えていた自分が悲しい。
- C3 ・なんでこんなにいい子を信じてあげられなかったのだろう。
- C4 ・ちょっと違う方向から考えてみたのですが、なんで私のために、そこまでしてビールを買ってきてくれたのか。
- T ・なるほど。なんでだろう。
- C1 ・チェトリ君は正直者だからです。
- C2 ・チェトリ君は自分にできることを精一杯やった。やりたかったんだと思う。
- C3 ・そんなチェトリ君を、自分は村人と同じように「逃げたんじゃないか。」と疑ったのだから、疲れ果てたチェトリ君を見たら、後悔とか反省とかで自然に涙が出ちゃうと思う。
- T ・C3さんの思い、考えが伝わってきましたね。「私」は、チェトリ君から何を教わったのでしょうか。
- C1 ・チェトリ君は、私のために善意を尽くしてくれた。
- C2 ・何日かけても、頼まれたことをやり遂げること。

主人公に託してチェトリ君への手紙を書くことにより「誠実」に生きることの大切さを考えさせる

- T ・「私」は、たくさんの思いがこみ上げて、涙で言葉が出なくなりましたね。その思いを、チェトリ君への手紙として書いてみましょう。
・(ワークシートを配布する。)

T: 机間指導

(机間指導をしながら、個別に指導する。)

C1:何を書いたらいいの？

T:「チェトリ君から、こんなことを教わったよ。」と語りかけるように書いてごらん。

C1:頼まれたことは最後までやり通すとか。人を信じるとかかな。

- T ・では、友だちの考えを聞いてみましょう。C1さんお願いします。
- C1 ・あの時チェトリ君は、自分が飲むわけでもないのに峠を4つも越えて、ぼく達のために重たいビールを買ってきてくれたね。本当にありがとう。帰ってきてくれた君の姿を見て、感激しています。ここまでしなくてもよかったのに、みんなが言うように、あのお金でお父さんやお母さんに会いに行けばよかったのに。3日もかかっても、責任を果たそうと必死に帰ってきた君の姿に心をうたれ、私は涙が止まりません。
- T ・そこまで考えられたC1さんの心も素敵だね。ありがとう。では、続いて、C2さんお願いします。
- C2 ・この前は、あんなことを頼んでしまってごめんなさい。君は本当にいい子ですね。その君を私は疑ってしまいました。その自分が許せません。君がいい子だということは、5本のビールを買ってきてくれた時も、また買ってこようか？と言ってくれた時も、よく分かっていたのに、私は君を信じ切れなかった。情けないです。君が大人の私に教えてくれた「真面目さや一生懸命やり遂げること、約束を守ること」は、いつまでも忘れません。
- T ・C2さんの発表を聞きながら、私も涙がこみあげてきました。チェトリ君はすごいね。C2さん、素敵な手紙を聞かせてくれてありがとう。続いてC3さんにもお願いします。C3さんは、「あのときの味は、今でも忘れません。」の言葉が心に響いたようですよ。
- C3 ・この間は、2回もビールを遠くまで買いに行ってくれてありがとう。あのビールの味は忘れられません。特に君が3日もかかって私の所まで運んできてくれた時のビールは格別でした。君が私のために、私の単なる欲望のために、あんなに一生懸命、応えてくれたこと。君のその気持ちがうれしくて、涙と一緒に飲み込んだあの時のビールは、とても苦かったです。そして、君の気持ちのようにととても温かかったです。本当にありがとう。
- T ・なるほど。まるで、ビールの味を知っているかのような、実感がこもった手紙ですね。(生徒の笑い) C3さん、ありがとう。では、もう一人、C4さんにも聞いてみたいです。お願いします。
- C4 ・私は君から「人間の素晴らしさ」を教えてもらったような気がします。今の私たちが忘れかけていた「人のために」に気付かされました。自分のことよりも、相手の人のことを考えて、ビールが飲みたいという私のために、全力で尽くしてくれました。君の生き方に私の心は動かされました。そして、「人間の素晴らしさ」「人のために、人の心は強くなること」を改めて、考えさせ



られました。

(つぶやき)

C ・やっぱり、人を信頼しなくちゃいけないなあ。

T ・C4さんは、「人間の素晴らしさ」って書いています。人間にとって、大切なものは、何だろうね。

C1 ・責任をもって、一生懸命取り組むことだと思います。

C2 ・最後まで、あきらめないで頑張ることだと思います。

C3 ・人のためになることを、何も考えずに、自分のできる精一杯の力でやることだと思います。

雪舟の説話をういて、ねらいについてまとめる

T ・今、みんなが気付いてるその心を、「誠実」といいます。

・誠実であることは、人間としての誇りだと思います。

・チェトリ君は、誠実ですね。だから、私たちの心を動かすのですね。

・(雪舟の言葉を黒板に貼る。) 一に誠実、二に誠実、三に誠実。誠実を忘れると処世も人生も誤る。

・雪舟の話です。(雪舟の話を配布する。)

・雪舟が中国にいたとき、五重塔の絵をかきました。日本に帰ってくると、五重塔があると思っていた寺に、五重塔がないのです。ないものを描いたら、嘘になってしまうと悩み、雪舟は、意を決して五重塔を建てることにしたのです。それから、大変な思いをして、ついに五重塔を建立したのです。誠実ということは、人間の尊い宝なのです。

・今日は、みんなで「誠実」ということをじっくり話し合えたように思います。

(生徒は「振り返りカード」に、本時の学びを自分の言葉でまとめて、授業を終えた。)

